

唐といふ山伏ありとあり、同評判は大江田
玄祐より別腹の事、羽鳥山伏と名義貞
陰謀の追文の便をまゐとあり

一兼仕

法山よりものなり一書にち中の福あり
一をまゐとあり、三山雅集西明寺時頼
追玉の沢羽鳥よりして兼仕を勉めひ法山の
時頼玉の標題に梅津中なるを下まと有
け人出家一西明寺入心と号一世より
死去と披露一書破たあつ二階堂一人召

具一密は額を案一六十餘別を強引一
あゆ事二十年をくあゆのそだの若を尋ん
とめありとりや法山よりするに千人の権
の案を記して福倉一得あひ一事太平記
評判は見へたり兼仕法師の宅中おはせく
道海をこれたり事あり一を右のとく記
福一あひたりや兼仕を勉て久安山より
あひ法山を頼る人の急意をいり一して
知あひたりや

一犬工